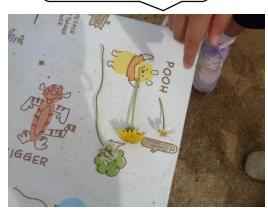


小さいのが赤ちゃん



エピソード

初めての戸外遊びで何をしようか見回していた A 児。遊びに使えるように摘んであった花に手を伸ばし3つ手に取ると、「赤ちゃんだ」と言いました。傍にいた保育者が「お花、きれいだね」と声を掛けると、3つの中で一番小さい花を指さして「これ、赤ちゃん」と保育者に伝えました。保育者が「これが赤ちゃんのお花なんだね。小さくてかわいいね」と大きさを言葉にすると、嬉しそうに笑い、「これはお父さん、こっちはお姉ちゃん」と言ったので保育者が「とうしてこれがお父さんなの?」と尋ねると「大きいから」と答え、大中小の順にお父さん、お姉ちゃん、赤ちゃんだと教えてくれました。保育者が「大きさが違うからなんだね。面白いね」と共感すると、「これは?」「赤ちゃん」「これは?」「お父さん」と繰り返し保育者と伝え合うことを楽しみました。

保育者の思い

- ・身近な自然物に興味をもてるよう、い ろいろな草花を遊びの場に用意して おきました。
- ・初めての戸外遊びで A 児が何をして遊ぼ うか迷う姿が見られたので、保育者が一 緒に遊ぶことで安心して過ごしてほし いと思いました。
- ・花の大きさや小ささ感じて、お父さん や赤ちゃんなどの身近な言葉で自分 なりに表現する姿を大切にしたいと 考え、思いを言葉にして受け止めまし た。

子どもの育ちや学び

- ・興味をもった花に自分から触れていました。
- ・花の大きさの違いを感じ、身近な言葉で表現して いました。
- ・保育者と一緒に、安心して遊ぶことを楽しみました。

家庭だったら・・

道端に咲いている草花も子ども達にとっては魅力的なものです。登降園時に見たり触れたりしてみると、子どもの素敵な表現が聞けるかもしれませんね。